

日 時：2024年12月1日（日）10:00～11:05

場 所：高宮田園パラッツォ

参加者：8名

○対話集会でいただいた意見や要望をまとめました。

#### 1 統合そのものについて

- ・統合にはメリットもあると思うが、その裏にはデメリットもある。メリットは学校規模が大きくなること、デメリットは地域から子どもがいなくなること。
- ・インフレが進んでいるので、早く決断しないと校舎を作るにしてもコストがどんどん上がると思う。既存の吉田中学校を使うにしても、50年以上経てば建築基準法は変わる。そのたびに改修費がかかる。
- ・小さい頃は高宮だけで大きくなったから、大人になって急に人数が多くて、知らない人ばかりの社会に入って驚いたことを覚えている。そういった経験から、ある程度人数が多い学校の方がいいことが多いと思う。

#### 【市長コメント】

ある程度人数が多いことは、メリットがあると思います。

#### 2 統合の進め方について

- ・財政が大変だろうが、早く統合してもらいたい。これまでの教育委員会の説明を聞いて、地元から1校案で進んでいると聞いていたので、まだ決まっていなくて聞き驚いた。すでに保護者へのアンケートをしているので、それを基に事業を進めるべきだと思う。

#### 3 校数と位置について

- ・美土里町の中学校には、寮があった。美土里と高宮は雪が多いので、寮を考えたらいいのではないか。

#### 4 教育について

- ・昔の600人くらい生徒がいたことを考えると、今は2人の生徒を3人の先生で見ているので恵まれていると思う。

#### 5 通学について

- ・今の子どもは、雨が降れば父兄が送迎している。吉田まで行くとなると時間がかかるので、始業時間を遅らすことを考えてはどうか。
- ・下校のスクールバスが2便になっているが、クラブ活動は活動によって終了時間を揃えるのが難しいのではないか。

#### 6 部活動について

- ・冬期の通学は大変。昔、私が高校生のころは、高宮から吉田高校に通っていた。クラブ活動をするると帰る時間が遅くなるので寮に入っていた。今はそんなに遅くまでクラブ活動をしないうのだけど、子どもたちが我慢をしているのではないか。
- ・統合のメリットはクラブ活動を大人数でできること。今は団体競技ができる状況ではない。

クラブ活動はみんなとの協調性など大事な要素も多い。

## 7 まちづくりについて

- ・統合は子ども中心で考えていく方がいい。子どもが少ないということは、住んでいる親が少ないということ。定住政策を進めることは大切だが、U ターンで地元のことがわかっている人なら問題は起きないが、I ターンなど地元のことがわからない人や地域に愛着がない人が来ると、必ず地域ともめる。

### 【市長コメント】

来年 1 月に中学生との対話集会を予定しています。I ターンをされた方と地域の人がうまくいっていない所もあるがそれはその人による部分もあります。しかしながら、そういった人の力を活用していかなければいけません。

- ・子どもが地域から居なくなるわけではない。統合しても週末は地元に戻ってくるし地域行事にも参加できる。地域のことを考えるより子どもたちの環境を整えて欲しい。
- ・地域から中学校がなくなると、地域が廃れると言う人がいるが、中学校があっても人数が減っている。特に地域と中学生との関わりはないので、中学生とあいさつする機会がなくなって寂しい思いをするくらいではないか。可部の亀山に家を持っているが、そこでも地域のお世話をする人は昔からその地域にいる人だけで、新しく来た人は仕事が忙しいこともあってほとんど地域活動に参加しない。祭りとかやれば子どもを連れてくるが、自治会にも入っておらず、自治会費も払っていない人が大半。高宮でも地域活動をしている人は、退職して時間がある人が多い。地域も大切だが、統合は子ども中心に考えてやった方がいい。

## 8 その他

- ・なぜ対話集会を開催するのか。なぜ最初のテーマに中学校統合を選んだのか。

### 【市長コメント】

市民の声を直接聴きたい、その声を市政に生かしていきたいという思いで対話集会を開催しました。最初のテーマに中学校統合を選んだ理由は、これまで長い間中学校統合の議論がされてきたがゴールに至っていません。まずは小学校統合を優先して進め、今年度川根小が高宮小と統合して小学校統合が終わったので、次は中学校統合を進めたいと考えています。

- ・これまで対話集会をされてきたが、参加者からの意見の傾向は。

### 【市長コメント】

統合して大きな学校で学ばせたい。今ある校舎を使って統合した方がいい。など。1 校統合か 2 校統合のどちらかで、6 校維持の意見はあまりありません。

- ・次回の対話集会は「地域医療」でやってもらいたい。